

認証アプリご利用規定（2024年2月19日制定）

「認証アプリ」（以下「本アプリ」といいます）は、株式会社京葉銀行が、個人のお客さま向けインターネットバンキング「アルファダイレクトバンキング」を安全にご利用いただくために提供するセキュリティツールです。本アプリのご利用にあたっては、「アルファダイレクトバンキングご利用規定」に定める事項に加え、以下の事項を十分にご確認ください。なお、特段の定めがない限り、「アルファダイレクトバンキングご利用規定」における定義は本規定においても適用されるものとし、本規定に定めのない事項については、本規定に抵触しない範囲で「アルファダイレクトバンキングご利用規定」により取り扱うものとしします。

第1条 利用登録

本アプリの利用を希望するアルファダイレクトバンキング契約者（以下「契約者」といいます）は、当行所定の方法により、本アプリをスマートフォンにインストールの上、利用登録を行うものとしします。

なお、利用登録を完了するためには、契約者が当行に届け出ている電話番号あてに自動音声で通知されるパスワードを聞き取りの上、アプリ上に入力を行う必要があります。通知されるパスワードには有効時間がありますので、パスワードが通知されましたら、すみやかに利用登録を行ってください。

また、当行所定の回数を超えて誤ったパスワードを入力された場合は、一定期間、本アプリの利用登録を行うことができなくなりますのでご注意ください。

第2条 本アプリの機能

（1）トランザクション認証

①対象となる取引

- ・振込取引
- ・各種料金等払込取引「Pay-easy（ペイジー）」（民間収納機関への払込に限ります）

②利用方法

アルファダイレクトバンキングにて前項記載の取引を行った場合、「認証アプリ起動」ボタンが表示されます。当該ボタンをタップすると本アプリをインストールしたスマートフォンにて本アプリが起動し、取引内容確認画面が表示されます。アプリ上に表示された取引依頼内容をご確認の上、取引承認を行ってください。

（2）ワンタイムパスワード

①対象となる取引

- ・住所・電話番号変更
- ・その他当行所定のお取引

②利用方法

アルファダイレクトバンキングにて前項記載の取引を行った場合、ワンタイムパスワードの入力欄が表示されます。本アプリを起動し「ワンタイムパスワードの表示」ボタンをタップし、アプリ画面上に表示されたワンタイムパスワードを入力してください。なお、ワンタイムパスワードは一定の

時間を経過すると更新される可変的なパスワードです。表示されたパスワードはすみやかに取引画面に入力してください。

第3条 本アプリおよび利用端末の管理

(1) 紛失・盗難

本アプリは第三者が利用することのないよう十分注意してください。また本アプリをインストールしたスマートフォンは、紛失・盗難に遭わないよう契約者自身の責任において厳重に管理してください。

万一、紛失・盗難に遭われた場合は、直ちに当行所定の方法により届け出てください。この届出を受けたときには、当行は直ちに本アプリの利用停止の措置を講じます。この届出の前に契約者に損害が生じたとしても、当行は責任を負いません。

(2) 本アプリの再インストール

本アプリの削除またはスマートフォンの機種変更等を行った場合は、再インストールを行ってください。再インストールの際は、第1条の利用登録を再度行っていただく必要があります。

第4条 本アプリの変更

(1) 当行は本アプリのサービス内容等を変更する場合があります。この場合、当行ウェブサイトへの掲載による公表その他相当の方法で周知することにより、変更を行うものとします。(セキュリティ確保等のやむを得ない事由による緊急アップデートの場合を除きます。)

(2) 前項の変更は公表等の際に定める適用開始日から適用されるものとします。

(3) 本アプリは最新状態にアップデートしていない場合、適切に動作しない場合があります。

第5条 本アプリの権利帰属等

(1) 本アプリの著作権その他の知的財産権は、当行または正当な権利を有する第三者に帰属します。

本アプリを契約者自身で利用する以外に譲渡等を目的に利用することはできません。

(2) 本アプリのプログラムおよび本アプリに付帯する情報の転載、複製、改変、リバースエンジニアリング、第三者への頒布等を禁止します。

第6条 免責事項

(1) 本アプリをインストールしたスマートフォン端末および通信媒体が正常に稼働する環境については、契約者の責任において確保してください。契約者が本アプリを正常に利用できないことにより被る不利益および損害について当行は責任を負いません。

(2) 当行が当行所定の本人確認を行い、契約者が本アプリを利用した場合、パスワード等について不正使用、その他の事故があっても、当行は当該利用を契約者の意思に基づく有効なものとして取り扱い、またそのために生じた損害について責任を負いません。

以上